

執筆規定

1. 論文は刷り上がり 16,000 字以内、事例研究は 20,000 字以内を原則とする。
2. すべての投稿論文には日本語による要約をつける。但し原著には、英語の要約もつける。要約は、日本語で 800 字、英語で 175 語以内を原則とする。また、日本語および英語でそれぞれ 5 項目以内の **Key words** をつける。
3. 本誌の規格は B5 判とし、横 2 段組（各段 24 文字 50 行）によるものとする。
4. 原稿作成にはワープロソフトを用い、図表および写真を含め印刷完成時のレイアウトをした上で電子ファイルを提出する。
5. 英字、数字は半角にする。印刷所では文字データのみ使用するので、文字サイズ、傍点、傍線などによる修飾、罫線などは変換できない。
6. 原稿の書き出しには、タイトル、所属、氏名を明記する。
7. 図版、写真、その他などで印刷上とくに費用を要するものは、執筆者の負担とする。
8. 原稿記述の詳細については、日本心理学会編「執筆・投稿の手びき」2005 年改訂版（以下「投稿の手びき」という）の第 1 章「原稿の作り方」を参照すること。
9. 引用文献は論文の最後に、著者名のアルファベット順に一括してあげる。
10. 脚注は通し番号をつけ、本文中にそれに対する番号を付す。
11. 投稿論文は常用漢字、現代かなづかいを用い、簡潔、明瞭に記述する。
12. カタカナは、原則として日本語化した外国語を記述する時にのみ用いる。
13. 本文中の外国語の使用はできるだけ避け、外国人名、適切な日本語のない術語、書物やテキスト名などにのみ用いる。
14. 数字は原則として算用数字を用いる。度量衡の単位については、「執筆の手びき」を参照すること。
15. 略語は一般に用いられているものに限る。ただし、必要な場合には、初出の時にその旨を明記する。
16. 表と図・写真は、Table 1, Figure 1 のように通し番号をつける。
17. 表の題はその上部に、図・写真の題は下部に書く。説明文はいずれも下部に記す。表、図・写真の題、説明文、図表中の文字は英文にしてもよい。
18. 校正は、初稿を著者、再校以降は編集委員会で行う。

※「投稿申込書」「執筆用テンプレート」が本学大学院のホームページの「論文投稿を希望される方へ」にありますので、ご参照ください。不明な点は、編集委員会 (Tel: 03-3927-4116, Fax: 03-3927-4118, E-mail: bulletin-gra@tsu.ac.jp) にお問い合わせください。

編 集 委 員

石村 郁夫 飯田 順子 田中 真理

編 集 規 定

1. 本誌は、東京成徳大学大学院心理学研究科が発行する、臨床心理学とその近接領域の研究と報告等を掲載する機関誌であり、年1回発行する。
2. 本誌は、原則として心理学研究科の専任教員の研究論文を掲載する。
3. 本誌は、原著論文、事例研究、資料、論考、展望、報告等を掲載する。
4. 原著論文、事例研究は未公刊のものに限り、編集委員会において査読審査され、その掲載が決定される。その際、倫理上の問題について十分配慮されなければならない。
5. 掲載される論文等は、別に定める「執筆規定」によって執筆されたものに限る。
6. 論文等の題目の提出期限は毎年11月30日、原稿の提出期限は1月30日とする。
7. 本誌の編集は、東京成徳大学臨床心理学研究編集委員会の責任のもとに行われる。
8. 編集委員は若干名とし、研究委員会の議を経て研究科長が委嘱する。
9. 単著および共著における筆頭執筆者としての論文等は、原則として心理学研究科の専任教員1人つき1編とする。
10. 心理学研究科の専任教員を共同研究者とする論文等は、その指導にあたる専任教員が共著者である場合に限り認められる。
11. その他編集上疑義の生じた時は、その都度編集委員会において検討し、解決するものとする。

附則 この規定は、平成26年4月1日より施行される。